

介護職の医療的行為  
浣腸

## 介護職の医療的行為－浣腸

### 問題1 誤りはどれ？

- ①浣腸は、下痢が続き、内服薬でも反応便が出ない場合に用いられる治療方法である。
- ②便秘の際は、腸内に便がたまり、腹部を触ると膨満があることが多い。
- ③浣腸では、液体や薬液などを直腸内に注入して、便を軟らかく滑らかにして腸の蠕動運動を起し、排便を促す。
- ④介護職が実施できる浣腸の量に指定はない。

MEMO

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

## 介護職の医療的行為－浣腸

### 問題2 誤りはどれ？

- ①グリセリン浣腸は、人肌程度に温めて使用する。
- ②ベッドで浣腸をする場合は、右側臥位をとる。
- ③カテーテル挿入時は、口呼吸にすると肛門周囲の筋肉が緩み、挿入しやすくなる。
- ④排便後は、排泄物を観察する。

MEMO

---

---

---

---

---

---

---

---

## 介護職の医療的行為－浣腸

### 問題3 誤りはどれ？

- ①浣腸液を温めすぎると、腸粘膜が熱傷を起こすので注意する。
- ②浣腸液が冷たすぎると、体温低下などが生じる可能性があるので注意する。
- ③カテーテル挿入時には、ゼリーやオリーブオイルなどの潤滑油を付けて、腸粘膜を傷つけないようにゆっくり慎重に挿入する。
- ④ノズル5cmの浣腸器で、濃度50%のグリセリン液30グラムを浣腸した。

MEMO

---

---

---

---

---

---

---

---

## 介護職の医療行為－浣腸

### 問題4 誤りはどれ？

- ①運動不足、筋力低下は便秘の原因にはならない。
- ②便秘の予防として、毎朝決まった時間に便座に座ることが重要である。
- ③腹部マッサージは便秘の改善につながる。
- ④摘便は介護職員に許可されている行為だが、肛門の周囲をマッサージすることでも固い便が柔らかくなって自然排便が可能になることもある。

MEMO

---

---

---

---

---

---

---

---

## 介護職の医療的ケア-浣腸

### 問題5 事例問題

3日間排便のない利用者がある。  
主治医の指示で、滴下型の便秘薬を内服したが、  
今後、できる限り薬を使わないで、便秘にならないようにするためにどんな介護の工夫が考えられるか？

MEMO

---

---

---

---

---

---

---

---